

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

|        |  |
|--------|--|
| 郵便振替   | 【口座番号】 00130-5-24249<br>【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院                                 |
| 銀行振込口座 | みずほ銀行 五反田支店<br>【口座番号】 普通 2069305<br>【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院                     |
| 銀行振込口座 | みずほ銀行 五反田支店<br>【口座番号】 普通 2915961<br>【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院<br>日本での孤児院設立及び支援のため |
| 郵便振替口座 | 【口座番号】 00120-5-417839<br>【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院<br>日本での孤児院設立及び支援のため           |

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円、1,000円/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



久しぶりに、みんなでドーナツを作りました(カンボジア)

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は多岐に渡る皆さまからの御支援、御協力、本当にありがとうございました。

特にザンビアの孤児院においては、政情の不安から、やはり弱い立場にある子供たちに様々な被害が及び、当孤児院としても、急速ストーリーチルドレンを一時的に保護するところとなりました。その中で、一人の子供が事故に遭い、急速手術となりました。

私共孤児院による保護、及び皆さまからの御支援無ければ、彼の命はどうなっていたかわからないと言われ、この働きの意義の大きさを強く再認識させられました。

世界にはまだまだ多くの、助けを必要としている子供たちがおります。

一人でも多くの子供たちに手を差し伸べて行きたい、そのような思いでこの働きを進めておりますが、それには皆さまの「手」が何よりも必要であります。

どうぞ本年も、皆さまからの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。



## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

11月末頃、日本のNPO団体の皆さんが訪問して下さいました。今回は、孤児院の中生たちと会うことが出来、成長をとても喜んで下さいました。また、お米や調味料、タオルや衣類や薬など沢山持って来て下さいました。継続したご支援に、心から感謝しています。12年生(高校3年生)は、2018年の高校卒業試験に向けて、学校での補習などで準備を進めています。

最近、気になるのが健康状態です。1人は突然足に痛みと腫れが生じて、検査を行いました。神経が原因だろうということで、現在も投薬治療を受けながら、授業と補習に出ています。心も体も守られて、良い準備が出来るようにとスタッフ達一同祈り願っています。2017年も、皆様から多くのご支援と励ましを頂きまして、本当にありがとうございました。今年も、どうぞよろしくお願い致します。2018年も、皆様の上に神様の祝福が豊かにありますように、お祈り申し上げます。



訪問して下さいましたNPO団体の皆さんと一緒に

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの人々はお祝い事が大好きなので12月はクリスマスムード一色です。子どもたちが目を輝かせながら歌う姿を見てると喜びが伝わって来ます。この季節、ストリートの子どもたちは、お金を恵んでもらうためにジブニーやバス、タクシーの乗客に向かってクリスマスキャロルを歌います。お金のために子どもたちにやらせる親もいます。地方政府の厳しい取り締まりにもかかわらず、子どもたち、親たちもそれを止めることはありません。また政府は市民に対し「施しをしないように」と呼び掛けています。

しかし見過ごすことが出来ず、気の毒に思ってお金をあげる人たちもいます。

12月20日は学校でのクリスマスイベント。12月22日、各クラスでのクリスマスパーティー(各自食物持参)。12月26日～1月2日は冬休みです。12月30日には就学支援生全員集合の年末感謝会をするよいです。皆様のご支援ご協力を心から感謝致します。

2018年も皆様にとって素晴らしい年となりますように。



年末感謝会の様子

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

交通事故にあい、入院、手術をしたジェームズは無事に退院に至りました。今は松葉杖を使い、リハビリに励んでいます。命が危ぶまれた時から、ここまでこれた事を、皆様のご支援あってこそと、心から感謝致します。

唯一の車両が故障しているため、病院への通いもタクシーを用いざるを得ないこともあり、経済的には厳しい面もありました。中古車(2台で180万円)の至急の購入を必要としておりますので、どうかご支援をお願い致します。

新年を迎えるにあたり、衣類やランドセル等を送ってくださった方々、経済を支えてくださった方々、その他関心を寄せて下さり、励まし、応援を下さった方々全てに、ザンビア孤児院より心からの感謝を捧げさせて頂きまして、今年度最後のご挨拶とさせて頂きたいと思ひます。来年、新たな出会いと発展を期待しながら、更に多くのこども達の救済を進めていきます! 今後ともご支援をお願い致します!



福岡の小学校とスカイプで文化交流しました

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。雨期に入り、毎日雷雨とスコールです。部分的には学校も休みになるところもあり、バスターミナルには故郷に帰るチケットを求める人々の長蛇の列が見られるようになりました。10月半ばに私の自宅の隣りの家のご夫妻に車で送っていただき、地域の政府系の医療機関に健康診断のために行きました。奥様が私の代わりに色々交渉して下さり、とても助けられました。その後、種々の手続きで待ちましたが、11月末には無料で実際にお医者様に診察していただきました。お医者様が処方箋を出して下さり、12月初旬には基本的な血液検査、腰の骨の状態を見るX線、前に陽性が出たことのあるB型肝炎について詳しい再検査を無料で受けることができました。現在、結果待ちしています。政府の医療機関で無料で検査や治療を受ける方法について、ブラジル独特のやり方の情報を得ることができました。さらにこれから具体的に子供たちを受け取った後、これらの方法も効果的に用いていければと思ひました。忍耐を要する働きですが、引き続きご支援をどうぞよろしくお願い致します。



隣りの家のご夫妻と松本スタッフ